

様式第4号

課題名	糖尿病を有する膵臓癌手術例における術前後のインスリン分泌能の変化及び耐糖能悪化から膵臓癌診断までの期間の検討
承認番号	2022-25 番
研究機関名	横浜市立みなと赤十字病院
研究責任者	所属 内分泌内科 氏名 田口邦之
研究期間	(西暦) 2022 年 11 月 ~ (西暦) 2023 年 5 月
研究の意義・目的	複数の研究において、膵臓癌の発症による糖尿病の血糖コントロール悪化や、膵切除によるインスリン分泌能の低下または改善が報告されています。膵臓癌の病型や糖尿病罹病期間とインスリン分泌能の変化の程度を評価した報告はまだ不十分であり、本研究において膵臓癌手術症例において糖尿病罹病期間や膵臓癌の部位、その他臨床学的特徴が術前後でのインスリン分泌能の変化とどのように関連するかを明らかにすることを目的としております。また糖尿病を指摘または血糖が増悪してから膵臓癌と診断されるまでの期間の中央値を調べます。
研究の方法 (対象期間含む)	2005 年 4 月から 2023 年 3 月に当院にて膵癌、糖尿病を有し、膵臓手術が施行された方を対象とします。糖尿病の罹病期間の評価に診療録、血糖、HbA1c を、膵臓癌の臨床所見の抽出には診療録や画像所見、病理所見、腫瘍マーカー値、炎症反応値を、インスリン分泌能の変化の評価には血糖、血清 CPR、尿中 CPR、その他生化学、血算データを用いて評価を行います。
試料・情報の利用目的及び 利用方法 (匿名加工する場合や他 施設へ提供される場合は その方法を含む)	膵臓癌手術症例において糖尿病罹病期間や膵臓癌の部位、術前後でのインスリン分泌能の変化の関連を検討する事で、糖尿病を有する膵臓癌患者において術後のインスリン分泌能の予測につながる可能性があります。本研究では診療録や血液・尿検査結果、画像検査結果、病理検査結果を用いますが個人を特定できる情報は削除しデータ解析を行います。
利用又は提供する 試料・情報の項目	診療録から年齢、性別、糖尿病と診断されてからの期間、膵臓癌診断からの臨床経過を使用します。 血液・尿検査から血糖、HbA1c、血清 CPR、尿中 CPR、CRP など、画像検査、病理検査から膵臓癌の臨床所見を抽出します。
試料・情報を 利用する者の範囲	内分泌内科担当医師(研究責任者 田口 邦之)
試料・情報の管理における 責任者の氏名又名称 (当院及び提供先)	横浜市立みなと赤十字病院 内分泌内科 氏名 田口 邦之
問い合わせ先	当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ 〒231-8682 神奈川県横浜市中区新山下 3-12-1 横浜市立みなと赤十字病院 所属 内分泌内科 氏名 田口邦之 TEL:045-628-6100 (代表) 内線 3808 (事務局) / FAX:045-628-6101